

11/25「高洲震災モニュメントを考える」市民の集いアンケート集約結果(総括)

町名 高洲 5、日の出 4 が多かった。(回収アンケート総数 19 名)

年齢 70 代 6 人 60 代 4 人 50 代 6 人。40 代以下は 3 人と少ない。

性別 男性 11 人 女性 8 人 と男女バランスはとれている。

1. この集いは何でお知りになりましたか。

主催者からの勧誘 9 人 チラシ (ポストイン) 6 人 が多い。

2. 今回の集いに参加されて、気づきや学びはありましたか？

大いにあった 5 人 あった 11 人 が 16 人と大半を占める。

■気づき、学んだ点はどんなことですか？

・耐震性貯水槽の原因究明、構造問題の解明こそ、モニュメントより先決課題という意見が多数を占めた。

・このモニュメント建設事例が、市民の思いや意見を軽視する今の市や議会の姿勢を浮き彫りにしたという声も多い。

・また、市民団体としてカラーを出さないことは理解できるが、市民として問題提起するとおのずとカラーは出る。当たり前のことを言うことが、自己規制に結び付かないようにしたいとい助言もあった。

■その気づきや学びをこれからどう活かしますか？

・「市民の意見をどのように市に伝えるかを考える場になった」「新たな情報提供や問題提起として拡声していく」「さまざまな市民活動の輪を広げていく」「市議会議員選挙投票に活かす」「今後の政治活動に活かす」「若い世代にどう伝えるかだ」など前向きな行動姿勢の意見が多く出た。

3. 貯水槽やモニュメントについて参加前後でご自身の意見は変わりましたか。(どの点が？どのように?)。

・参加前後で「変わらない」という意見が多い。

・「やるべきこと、必要だと思うことを行っていこうということが再確認できた」「他市や全国にこの学びを伝えていきたい」という声もある。

4. 今後市民討論会でとり上げて欲しいテーマがあればご記入ください。

・最も多いのが、市庁舎建設の要否、可否、適否のテーマ。

・その他は意見が分かれた。(情報公開、市民参加、広聴の仕組み、学校教育、若者支援、復旧・復興など)

5. 市民討論会への要望、改善点など (進行、運営方法、組織、開催形態等 なんでも)。

・「市長や職員なども参加して市民とともに考える。市長の意見が何故市民に伝わらないかを考える。」「市議も市民も輪を広げ、賛否両論の人が集まる会へ」「逆の意見の人間を参加させなければ活性化しない」など貴重な意見が多く出た。

・その他として「新住民と旧住民との連帯が深まるテーマやイベントが必要」「若い世代、次世代に PR するイベントや組織をつくれないうか」「若い世代、女性など参加者をもっと幅広く集めたい」などの意見が出た。

以上